

2012年7月12日、阿蘇市を襲った豪雨は、山々の緑を根こそぎ奪い去った。

3年前に発生した九州北部豪雨、  
昨年から活発になった阿蘇中岳など、  
立て続けに自然の猛威に直面する私たち。

豪雨と噴火の対策特集

# 阿蘇に生きる。自然と共生する。

阿蘇総務課 防災対策室 ☎22-3111

阿蘇に生きるため、自然と共生するために、  
必要な対策を改めて確認しましょう。

2014年11月25日に小規模噴火して以来、  
噴煙を上げ続ける阿蘇中岳。

雨の対策 1

# 命を守る行動、それが予防的避難。

2012年7月の豪雨災害以来、阿蘇市が推進する「予防的避難」は、災害から命を守る究極の避難行動とされています。予防的避難とは、あらかじめ雨が降ることを想定して、夜間や激しい雨のときを避け、明るいうちに早めに避難することです。

市では、防災行政無線やお知らせ端末で予防的避難を呼びかけますので、時間に余裕をもって早く安全に避難しましょう。なお、予防的避難は、あくまで自主避難となります。食べ物や毛布、ラジオなど必要な用品をご準備のうえ避難をお願いします。

● 予防的避難時の避難場所

一の宮保健センター、農村環境改善センター、阿蘇西小学校体育館、波野保健福祉センター

雨の対策 2

# 避難場所と危険箇所を事前に把握。

下記に示す指定避難場所の把握はもちろんのこと、突然の豪雨などで避難勧告や避難指示が発令されることを想定して、避難経路を確認することが大切です。また、身の回りや避難経路周辺の危険箇所を事前に把握することも大切です。

災害に関する情報、知識をより多く持つことで、その時々に対応することが可能になります。

● 指定避難場所（避難勧告・指示発令時の避難場所）

対象地域	避難場所
宮地地区	一の宮体育館、宮地小体育館、一の宮中体育館、かんばの宿阿蘇、農村構造改善センター
坂梨地区	坂梨小体育館、坂梨公民館
古城地区	古城小体育館*、一の宮中体育館、旧中通小体育館、中通公民館
中通地区	旧中通小体育館、中通公民館、荻の草公民館、阿蘇中央高校阿蘇清峰校舎体育館
内牧地区	阿蘇体育館（武道場含む）、農村環境改善センター*、阿蘇中体育館*、旧深葉分校校舎
山田地区	山田小体育館、今町公民館*、鷲の石公民館
黒川地区	阿蘇小体育館、旧乙姫小体育館、阿蘇市コミュニティセンター
永水地区	赤水公民館、永草公民館、阿蘇西小体育館
狩尾地区	尾ヶ石東部小体育館*、狩尾1区公民館、狩尾2区公民館*、旧J A阿蘇尾ヶ石支所、阿蘇中体育館*、阿蘇西小体育館
的石・跡ヶ瀬区	阿蘇西小体育館、跡ヶ瀬コミュニケーションセンター*
榑木野、赤仁田、中江、滝水、山崎、仁田水	波野体育館、波野公民館、波野保健福祉センター
小園、小地野、笹倉	やすらぎ交流館、道の駅波野「神楽苑」
立塚、遊雀、中道、横堀	農村婦人の家、郷土芸能伝承館
大道、坂の上	波野中体育館、波野小体育館
(その他避難場所)	一の宮運動公園、阿蘇駅前噴水広場、道の駅「阿蘇」、農村公園あぴか、阿蘇草原保全活動センター、旧尾ヶ石西部小跡地、道の駅「波野」、波野グラウンド

\*は、九州北部豪雨災害と同等以上の雨量が予想される場合（浸水の恐れがある）には利用できません。

- 避難所の開設は防災行政無線などでお知らせます。
- 上記地域ごとの避難所以外でも、安全に避難できる避難所であればどこでも避難が可能です。
- 指定避難所以外でも、傾斜地や河川沿い以外で危険性のない、親戚や知り合いのお宅などへ避難することも避難行動の一つです。



# 情報ツールの活用で災害を切り抜ける！

テレビやラジオ、防災行政無線、お知らせ端末などでの情報収集はもちろんのこと、下記にあげる情報ツールを上手に活用し、あなたに必要な情報を取得しましょう。

情報ツールの活用で、阿蘇の“今”をキャッチできます。

## 阿蘇安心安全ネットワーク

阿蘇地域の火災情報をはじめ、災害や犯罪の情報をいち早く携帯電話やパソコンのメールでお届けします。登録はもちろん無料。市民の方はぜひ登録してもらいたいツールの一つです。

### ●手順

- ① QRコードを読み込む。
- ② 『新規登録』ボタンを選択。
- ③ 利用規約に同意のうえ、『次へ』ボタンを選択
- ④ メールアドレス、パスワードを入力し、受信カテゴリ（左記参照）を選択
- ⑤ 入力内容を確認後、『登録』ボタンを選択

### ●受信カテゴリ一覧

- ▼火災情報
- ▼行方不明者情報
- ▼交通情報
- ▼災害情報
- ▼感染症情報



## 熊本県防災情報メールサービス

熊本県による大雨や地震、河川の氾濫、避難勧告などの災害時に重要な情報を配信するメールサービスです。必要に応じて提供される情報を選択できます。

### ●手順

- ① 『entry@anshin.pref.kumamoto.jp』に空メールを送信。
- ② 返信されるメールの指示に従って登録

※希望する市町村を選ぶだけで登録できる。かんたん設定登録もありません。携帯電話の操作が不慣れな方でも比較的簡単に登録できます。

### ●主な受信カテゴリ

- ▼気象注意報等
- ▼土砂災害情報
- ▼地震情報
- ▼記録的短時間大雨情報
- ▼火山情報
- ▼河川水位超過情報
- ▼避難勧告情報
- ▼市町村からの防災などに関するお知らせ

## 河川ライブカメラ

黒川河川沿いの4カ所に設置してあるライブカメラを通じ、河川の水位状況などを確認することができます。いずれもパソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

### ●手順

- ① 阿蘇市ホームページの『防災』を選択
- ② 「黒川河川・黒川調整池堰・砂防工事進捗ライブカメラ」を選択
- ③ ご覧になりたいライブカメラを選択

### ▼阿蘇市 HP の画面



雨の対策 4

# 備蓄品を準備し、万が一に備える。

災害は突然やってきます。電気やガス、水道などのライフラインが停止してしまう場合に備え、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておきましょう。

また、避難生活を余儀なくされた場合に最低限の生活が送れるよう、生活に必要なものを準備し、いつでも持ち出せるように備えておくことも大切です。

## 災害時に備えた備蓄品の例

- **飲料水** 一人1日3ℓを目安に、3日分を用意
- **食品** ご飯（一人5食分を用意）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど一人最低3日分の食料を用意
- **下着、衣類**
- **トイレットペーパー、ティッシュペーパー** など
- **マッチ、ろうそく**
- **カセットコンロ**

※飲料水とは別に、物を洗ったりトイレを流したりするための水も必要です。日頃から水道水を入れたポリタンクを用意したり、お風呂の水をいつもはっておくなどの備えをしておきましょう。

## 非常持ち出し品の例

- **飲料水** ● **食料品** カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど
- **貴重品** 預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など
- **救急用品** ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など
- **ヘルメット、防災ずきん** ● **マスク** ● **軍手**
- **懐中電灯** ● **衣類** ● **下着**
- **毛布、タオル** ● **携帯ラジオ、予備電池**
- **使い捨てカイロ** ● **ウェットティッシュ**
- **洗面用具**



(出典：政府広報オンライン)

## お知らせ

### 黒川河川激甚災害対策特別緊急事業 「宅地高上げ相談窓口」 開設



- **問い合わせ**  
阿蘇地域振興局用地課  
☎ 22・0261
- **開設時間** 平日（午前8時30分～午後5時）  
※ 正午～午後1時を除く
- **開設場所**  
▼ 阿蘇地域振興局1階専用窓  
☎ 22・0261
- ▼ 熊本県建築住宅センター  
（熊本市中央区水前寺6丁目32番1号）  
☎ 096・385・0771

熊本県阿蘇地域振興局では、宅地高上げの対象となる方を対象に無料相談窓口を設置しました。事業の進め方や建設業者との契約など、不安な点などにお応えします。必要に応じて訪問も行いますので、お気軽にご相談ください。

# 火山列島、ニッポン。

日本の火山を知って、私たちの阿蘇山を考える。

**活**火山とは、おおむね過去1万年以内に噴火した火山や、現在も活発な噴気活動のある火山のことです。現在、日本全国にある活火山は、近畿、四国を除くほぼ全国に分布しており、総数は110とされています（平成27年1月20日現在）。

110の活火山のうち47は、今後およそ100年の間に噴火の可能性があります、その噴火による社会的影響があるとして、気象庁では地震計などを設置して24時間体制で常時監視しています。

また、火山活動の状況により区分される、噴火警戒レベル2（火口周辺規制）は、現在、阿蘇中岳を含む7火山、レベル3（入山規制）は、昨年噴火した御嶽山、桜島、口永良部島の3火山となっています。

昨年11月の小規模噴火以来、活発な活動が続く阿蘇中岳ですが、ことし3月にリニューアルした降灰予報などを活用し、降灰に対する備えを万全にして、阿蘇の自然とともに暮らしていきましょう。

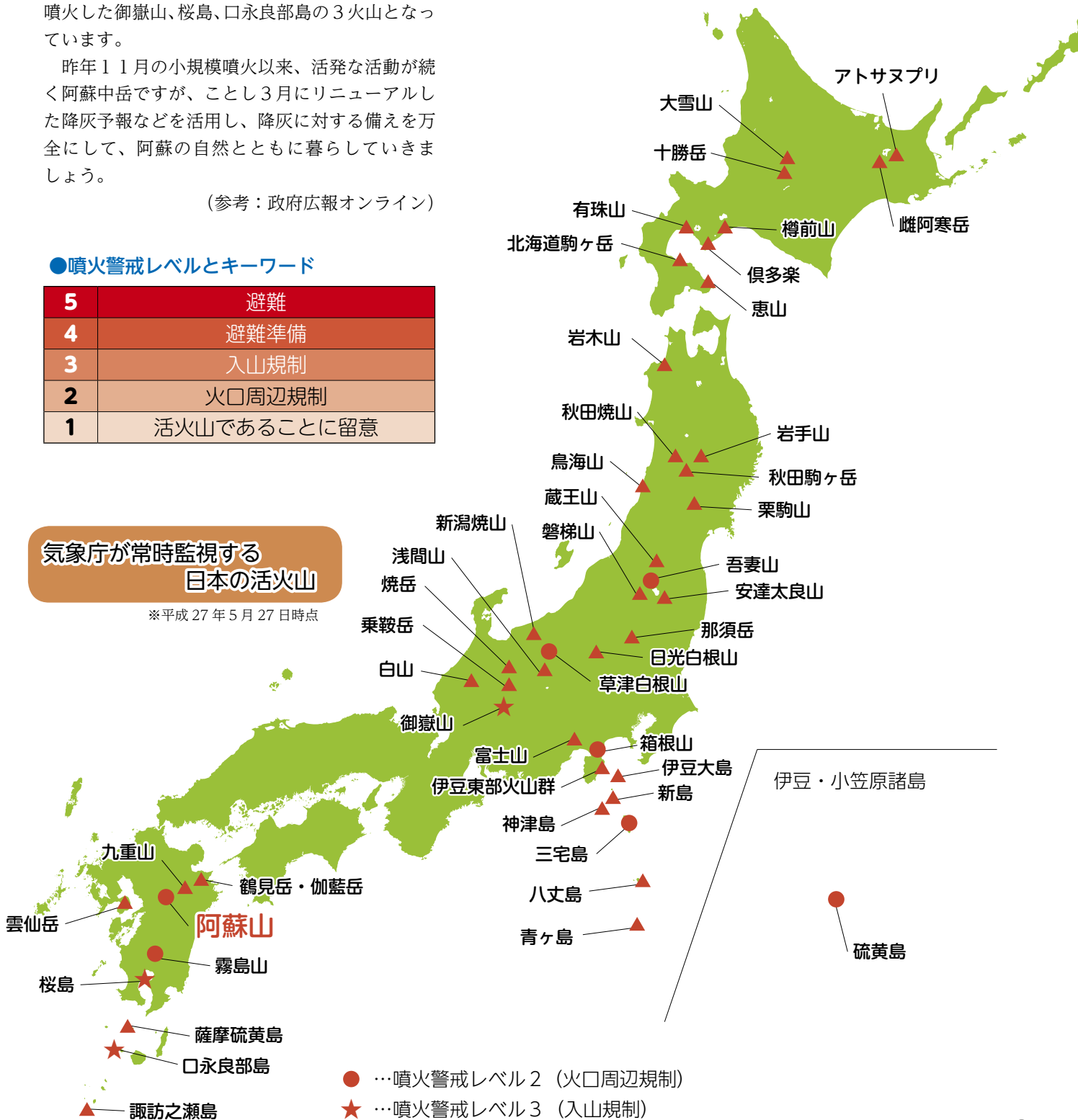
（参考：政府広報オンライン）

## ●噴火警戒レベルとキーワード

5	避難
4	避難準備
3	入山規制
2	火口周辺規制
1	活火山であることに留意

## 気象庁が常時監視する日本の活火山

※平成27年5月27日時点



## 降灰の対策1 降灰予報を活用し、降灰に備える。

気象庁が発表する降灰予報は、ことし3月にバージョンアップされ、いつ、どの地域に、どのくらい火山灰が降るかなど、より詳細な降灰予報が可能になりました。3段階の降灰予報を活用し、降灰に備えましょう。

### ● 3段階の降灰予報と概要

降灰予報（定時）	噴火警戒レベルが上がるなど、活動が高まって噴火する可能性が高い火山について発表されます。一定規模の噴火をすると仮定してシミュレーションを行った結果に基づいて、噴火した場合に噴火後18時間先（3時間区切り）までに予想される降灰範囲や小さな噴石の落下範囲の情報を発表します。噴火に備えて計画的に準備するための情報です。
降灰予報（速報）	噴火により「やや多量」以上の降灰が予想されたとき、噴火後速やかに（5～10分程度）発表されます。噴火後、事前に準備した降灰対策にすぐに取りかけられるようにするための情報です。
降灰予報（詳細）	「やや多量」以上の降灰が予想されたときに発表されます。噴火後、実際に観測して得た情報を用いてより精度の高い計算を行い、その結果を踏まえて噴火後20～30分程度で発表します。噴火から6時間先まで1時間区切りで、予想される降灰量分布や降灰開始時刻についての情報を提供します。降灰量など、詳細な観測結果に応じて適切な対応をとれるようにするための情報です。



これらの降灰予報は気象庁ウェブサイトで発表されるほか、テレビやラジオなどで発表されます。また、阿蘇市ホームページで公開します。



気象庁降灰予報

## 降灰の対策2 毎日の噴火情報をホームページで確認する。

阿蘇市ホームページでは、当日の阿蘇中岳警戒情報をほぼ毎日更新しています。噴煙の高さや流向、火口周辺情報などを掲載しています。また、気象庁が提供する噴火警報・予報や火山カメラなどの関連情報も掲載しています。必要に応じて情報収集にお役立てください。（ホームページは『阿蘇市』で検索）

▶ 阿蘇市ホームページのトップから「阿蘇中岳警戒情報」をクリック。

